基本施策
5　自ら学びともに支える生涯学習の推進

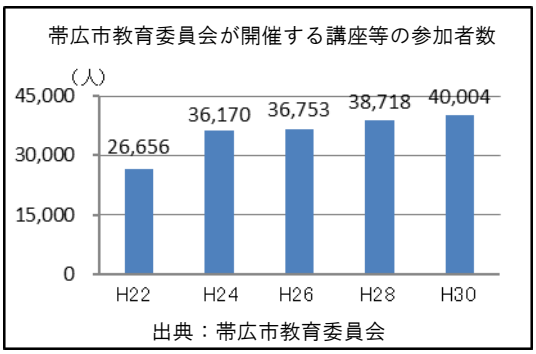
個別施策15　学習活動の促進

めざす姿	誰もが生涯にわたり、目的やライフステージに応じた学びを続けています。

■現状と課題

○　科学技術の進歩やグローバル化の進展など社会が急速に変化する中、学習ニーズは高度化・多様化が進んでいます。また、人生の可能性を広げ、新たなステージで活躍するために、必要となる知識や技能を身に付けていくことが重要となっています。

○　とかちプラザや図書館、百年記念館、動物園などの社会教育施設では、施設の特色を生かした学習活動が行われていますが、社会の変化や市民ニーズを踏まえ、関係機関などとの連携や協力を行いながら多様な学習機会を提供し、市民の生涯を通じた学習活動をさらに促進していく必要があります。



○　市民への学習情報の提供は、情報誌の発行や SNS※を活用して行っていますが、新しい情報をより効果的に届けていく必要があります。

■取り組みの方向性

○　仕事や生きがいづくりなどにつながる多様な学習機会や情報を提供し、市民の主体的な学びを促進します。

とかちプラザでの市民大学講座※

※ SNS P32 を参照。

※ 市民大学講座　十勝・帯広の地域特性を学ぶ講座や地域づくりに役立つ講座、趣味・教養に関する講座などを開講している。

■主な取り組み

1　学習機会や情報の提供

（1）　誰もが生涯にわたり学習を続け、いつまでも生きがいを持って豊かに暮らすことができるよう、他の関係団体や高等教育機関などと連携しながら、個人や社会のニーズを踏まえた多様な学習機会を提供します。

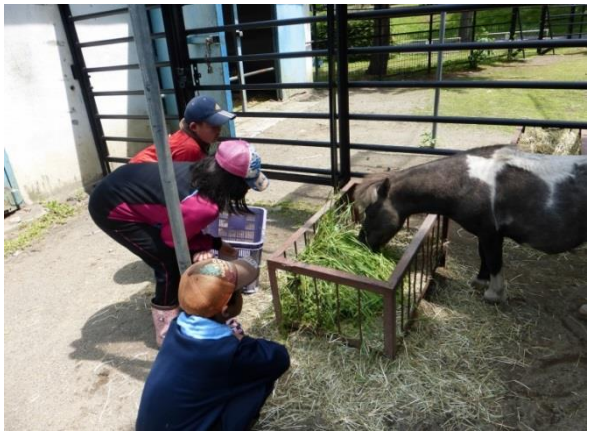
（2）　学習への意欲や関心を高めるため、ホームページや広報紙のほか、時代に合った手段を活用し、効果的な情報発信に取り組みます。

（3）　図書館において、地域にゆかりのある図書や映像などの郷土資料の収集・保存に努め、地域についての調査研究や理解を深めるための情報を提供します。

（4）　百年記念館において、地域の自然や歴史にかかわる資料の収集や調査研究を行い、その成果を生かした企画展示や博物館講座を開催します。また、展示内容の理解促進のため、常設展示室を適宜更新し魅力ある展示に取り組みます。

（5）　動物園において、飼育体験や講座を通じて、命の大切さや動物をとりまく自然環境などの理解を深めるプログラムを実施します。また、地域の野生動物や家畜を展示し、地域の歴史や文化を学ぶ機会を提供します。

（6）　社会教育施設や周辺施設との情報交換を行い、施設間の連携した取り組みを推進します。


動物園での飼育体験

百年記念館での博物館講座

個別施策16　学習を通じたまちづくり

めざす姿	学習を通じて身に付けた知識や経験をまちづくりなどに生かしています。

■現状と課題

○　人口減少や少子高齢化が進み、地域におけるつながりの希薄化が懸念される中、市民がこれまで培ってきた様々な知識や経験を生かしながら、行政や事業者等と協働して主体的にまちづくりを進めていくことが求められています。

○　本市においては、学習の成果を生かした市民の自主的な活動を促進するため、地域の学習団体が行う講座や学習会への支援を行うとともに、社会教育施設での展示の解説や施設サービスの提供に取り組むボランティアを育成し、活躍する機会を創出してきました。

○　近年は、急速な社会環境の変化や取り組むべき課題の複雑化などにより、市民の主体的な参加による持続可能な活動を進めていく上では、人づくりやつながりづくりが課題となっています。

○　より多くの市民が学習や活動に参加し、ともに学びあい多様な関係性を創りながら、学習成果を生かして活動できるよう、地域で活動する様々な団体の連携、協力や、市民の自主的な活動の支援を通じて、まちづくりの担い手となる人材を育成していく必要があります。

■取り組みの方向性

○　学習成果をまちづくりなどに生かすため、市民の自主的な学習活動を支援するとともに、地域の人材の育成と活用を図ります。

生涯学習推進委員会※による学習活動

※ 生涯学習推進委員会　自己啓発とコミュニティづくりを目的に地域の生涯学習活動を推進している団体。地域や生活に関わる様々なテーマを中心に講座の企画立案を行っている。

■主な取り組み

１　自主的な学習活動の支援

（1）　図書館でのおはなし会をはじめ、百年記念館や動物園での展示解説など、社会教育施設で行う市民のボランティア活動を支援します。

（2）　子どもから高齢者まで誰もがともに学びあい、人と人とのつながりを育む機会を提供するため、社会教育関係団体が地域で行う多様な学習活動を支援します。

２　地域の人材の育成・活用

（1）　社会教育施設において、ボランティアの育成や技術向上のための講座を行います。

（2）　若い世代の社会参加を促進するため、地域の教育機関と連携し、動物園でのふれあい事業へのサポートなど学生がボランティア活動に参加する機会の提供に取り組みます。

（3）　地域の特色ある調査研究に取り組むなど、帯広畜産大学との幅広い連携を進めます。

（4）　地域の人材の活用を図るため、学習指導者や講師のほか、学習活動を行う団体などの情報をホームページなどで広く紹介します。

図書館ボランティアによるおはなし会

ふれあい教室をサポートする学生ボランティア

個別施策17　社会教育施設の整備・管理運営

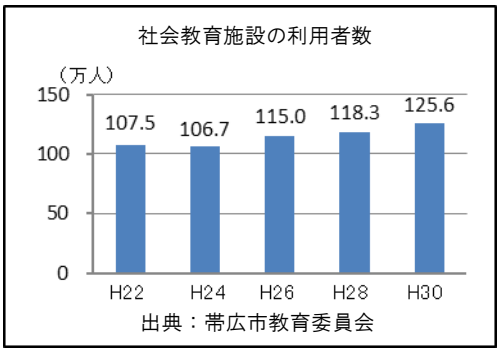
めざす姿	社会教育施設が積極的に活用され、多様な学習活動が行われています。

■現状と課題

○　社会教育施設は、地域住民の学習や活動の拠点として活用されており、社会的な要求水準を満たしながら利用者の安全性や利便性を確保する必要があります。また、インターネットを介した疑似体験が容易となる中で、人と人とが交流し、書物や作品、資料などに実際に触れ、体験をしながら学ぶ場としても重要性が高まっています。

○　本市においては、地域住民の多様な学習活動を進めるために、図書館をはじめ、百年記念館や動物園、児童会館などを整備し、計画的に設備の更新などを行ってきましたが、施設の老朽化への対応や社会の変化に応じた設備の充実、資料の収集や展示物の更新、効率的な管理運営などが課題となっています。

○　今後も社会教育施設が地域住民の学習や活動の拠点となるために、利用者ニーズを踏まえながら、快適な学習環境の提供を行うとともに、長期的な視点に立った計画的な施設機能の維持と整備を進めていく必要があります。



■取り組みの方向性

○　利用者ニーズを踏まえ、施設整備を計画的に進めるとともに、適切な管理運営に取り組みます。

■主な取り組み

1　計画的な施設整備の実施

（1）　利用者の安全性を確保するとともに、資料の保存や展示など施設の特色ある機能を適切に発揮するため、施設の計画的な修繕や整備を行います。

2　適切な管理運営の推進

（1）　施設の設置目的に即し、利用者ニーズを捉え、指定管理者制度※や管理委託により民間のノウハウを活用するなど、利便性の向上や効果的・効率的な管理運営に取り組みます。

※ 指定管理者制度　市が指定する法人やその他の団体が公の施設（スポーツ施設や公園等）の管理・運営を行う制度。